

## 平成24年度「新入生の生活に関する調査」

### 第3回 「大学卒業後の進路展望と保護者の関与」

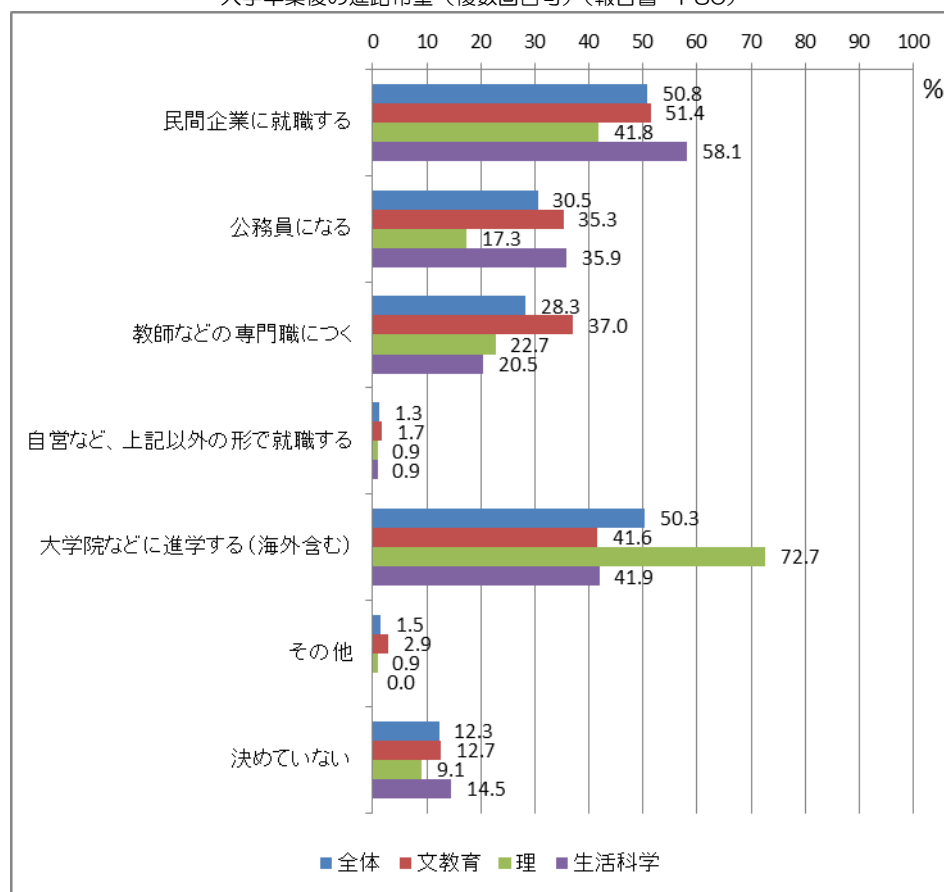
前回は「お茶の水女子大学に入学後の学生生活」についてご報告いたしました。その中で、本学の新入生やその保護者が不安をかかえ、支援を期待する「卒業後の進路」に今回は着目し、「大学卒業後の進路展望と保護者の関与」についてご報告したいと思います。

#### 1. 「大学院などへの進学」希望者が過半数

本学の新入生は、大学卒業後の自身の進路について、どのような希望をもっているのでしょうか。

大学卒業後の進路希望について尋ねたところ、「決めていない」との回答は、全体の1割程度と、大学に入学する時点で、卒業後の進路について何らかの希望をもつ人が多数であることがわかります。

大学卒業後の進路希望（複数回答可）（報告書 P30）



希望する進路別にみると、「民間企業に就職する」「大学院などに進学する（海外含む）」が全体でみれば多く、ともに半数を超えています。ただし、理学部では「大学院などに進学する（海外含む）」が7割を超える一方で、「民間企業に就職する」は4割程度と両者の希望には開きがみられました。

なお、これらの希望に続く「教師などの専門職につく」は文教育学部での高さが、「公務員になる」は理学部での低さが示されています。

## 2. 正規雇用で、最初の就職先に長く勤めたい

では、本学の新入生は、大学卒業後の就職について、どのような考えをもっているのでしょうか。「卒業後の就職」「就職後の勤務・退職」といった側面からみていきましょう\*。

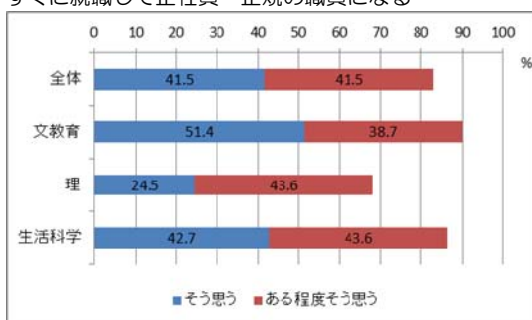
\*「全国大学生調査」を参考に、「大学卒業後のキャリアについての考え」に関する9項目について3件法で尋ね、その該当率（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）を示した結果を図示しています。

### (1) 「卒業後の就職」についての考え（報告書 P31）

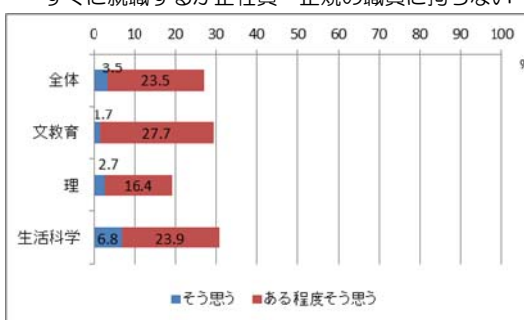
「すぐに就職して正社員・正規の職員になる」が全体の8割を超える一方で、「すぐに就職するが正社員・正規の職員に拘らない」「資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない」「卒業後すぐには就職しなくてもよい」は2～3割にとどまっています。

全国大学生調査コンソーシアム/東京大学 大学経営・政策研究センター（2008）「全国大学生調査」では、「すぐに就職するが正社員・正規の職員に拘らない」が37.7%であることから、本学の新入生の正規雇用志向がうかがえます。

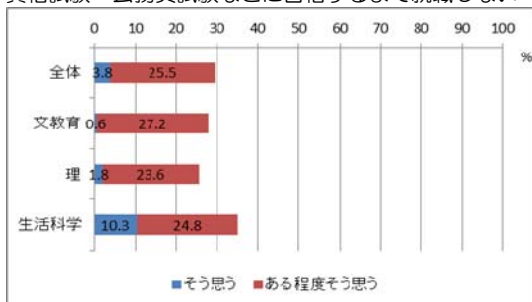
すぐに就職して正社員・正規の職員になる



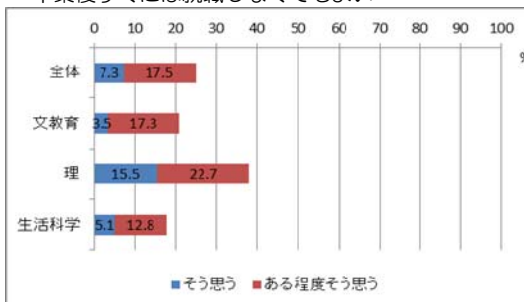
すぐに就職するが正社員・正規の職員に拘らない



資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない



卒業後すぐには就職しなくてもよい

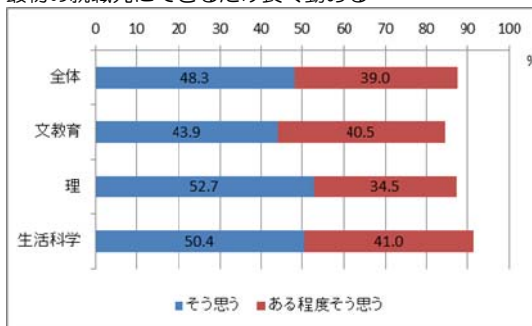


また、理学部では「すぐに就職して正社員・正規の職員になる」が低く、「卒業後すぐには就職しなくてもよい」が高いことがわかります。

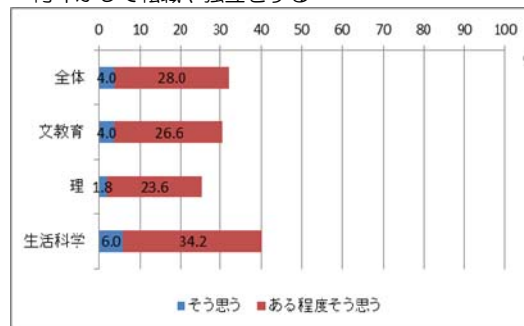
### (2) 「就職後の勤務・退職」についての考え（報告書 P32）

いずれの学部でも、「最初の就職先にできるだけ長く勤める」が約9割に及び一方で、「何年かして転職や独立をする」「結婚・出産したら仕事をやめる」は3～4割程度です。

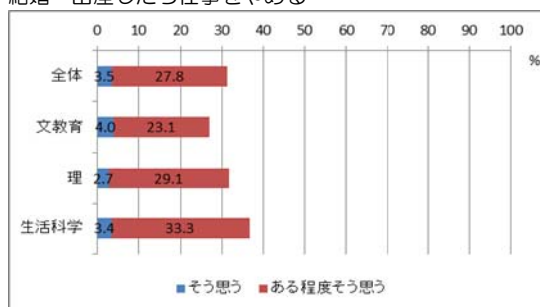
最初の就職先にできるだけ長く勤める



何年かして転職や独立をする



### 結婚・出産したら仕事をやめる



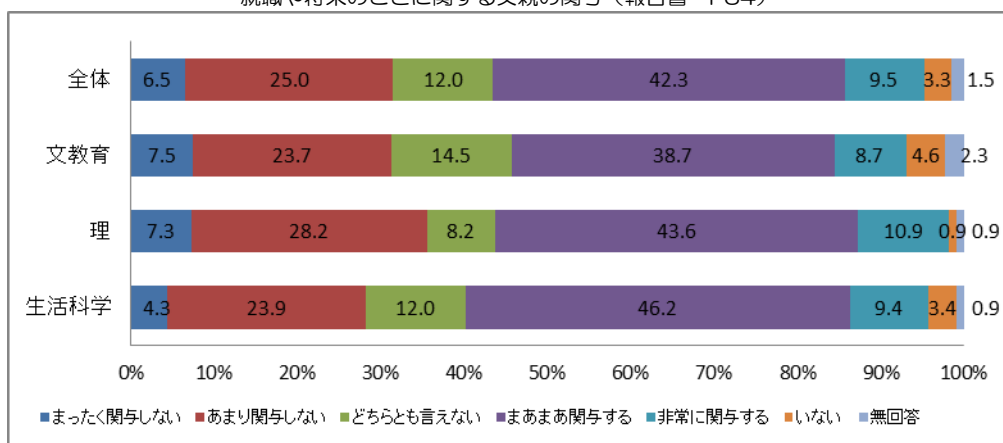
「全国大学生調査」では、「何年かして転職や独立をする」55.1%であり、本学の新入生の安定志向がうかがえます。

### 3. 半数の父親、6割の母親が、子どもの就職や将来の進路に関与

さいごに、本学の新入生の就職や将来の進路について、両親がどの程度関与しているのかについてみていきましょう。

まず、父親の関与について尋ねたところ、本学の新入生の半数以上が「非常に関与する」または「まあまあ関与する」と回答しており、学部別にみても、その傾向に大きな差異はみられませんでした。

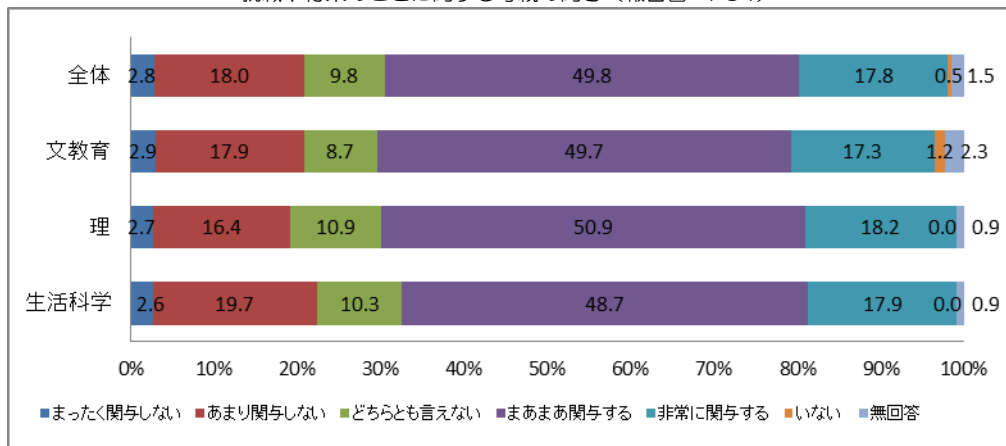
就職や将来のことに関する父親の関与（報告書 P34）



同様に母親の関与についても尋ねたところ、本学の新入生のおよそ 2/3 が「非常に関与する」または「まあまあ関与する」と回答しており、父親の関与同様、学部別にみても、その傾向に大きな差異はみられませんでした。

前回のご報告で、大学卒業後の進路に対する支援へのニーズの高さをお伝えしましたが、その際には、保護者の存在も視野に入れ、保護者とともに支援にあたるのが有益な支援につながると考えられます。

就職や将来のことに関する母親の関与（報告書 P34）



【参考とした調査・報告書】

- お茶の水女子大学（2011）「平成 22 年度 お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」
- 全国大学生調査コンソーシアム/東京大学 大学経営・政策研究センター（2008）「全国大学生調査 第一次～第三次調査 基礎集計表」

次回は、  
**「どのような新入生と保護者が  
 奨学金を認知・希望しているか」**  
 について、ご報告します。



「学生支援センター *Research Report*」としてその一部を紹介いたします報告書は、学生・キャリア支援チーム（内線2646、gakusei@cc.ocha.ac.jp）で冊子入手できるほか、TeaPot からPDF形式でダウンロードいただけます（<http://hdl.handle.net/10083/52311>）。